



和 中

前進・自立・心・元氣



めざまるくん



和東中HP
QRコード

学校教育目標

互いを認め合い、
物事を深く考え、
主体的に最後までやり抜く生徒の育成

「『心地よい』修学旅行」

学校長 杉本 悟

5月15日から17日までの長崎への修学旅行。3年生18人の子どもたちと一緒に3日間を過ごしました。それまでの1ヶ月余りで一人一人の顔と名前は一致するようになり、個別に少し話が出来た生徒もいました。しかし、集団としての子どもたちと関わるのは、今回の修学旅行が初めての機会でした。風薫る爽やかな季節、3日間天気にも恵まれました。

今回の修学旅行を振り返り、一言で表現するならば、「『心地よい』修学旅行」。これが私自身の思いに一番近い言葉かもしれません。ただ、その「心地よさ」をもたらしてくれたのは、決して快適な気候ばかりではありません。むしろ、「心地よさ」を感じさせてくれた中心は、3年生の子どもたちの姿です。

初日、ハウステンボスでは4班全てが予定時刻にチェックポイントに到着出来ませんでした。そのことで注意を受ける場面もありました。すると、子どもたちはそれを真摯に受け止め、2日目の長崎市内班別活動では、自分たちで立てた計画通り、完璧に行動したのです。私は、一つの班の計画の一部に時間的な厳しさを感じていました。浦上天主堂に向かうそのグループを長崎電気軌道（路面電車）の「平和公園駅」で見送り、その足で「めがね橋駅」へと電車で向かいました。眼鏡橋に着くと、散策をしている和東中の子どもたちの姿がありました。眼鏡橋に来るのは2つの班。目の前にいる子どもたちのグループと、先ほど「平和公園駅」で見送った例の班です。「知らない街だし、慣れていない計画だろうから多少の遅れは仕方ないな。来るまで気長に待とう」。そんな思いで長崎名物（らしい）チリンチリンアイスを購入。アイス片手に橋のたもとに立っていました。ところが、です。私の予想は見事に外れました。子どもたちは、なんと時間ピッタリに眼鏡橋に現れたのです。機会があれば、一度路線図を見てください。「平和公園」から「めがね橋」までは、途中で乗り換えが必要な上、15駅離れています。彼らは時間に間に合うよう、「平和公園駅」と浦上天主堂との間を往復ともに走ったのでしょうか。見学も超短時間で切り上げたのでしょうか。私も含め、大人なら間違いなく、彼らの行程を時間通りにこなすことは無理です。

班別活動の話はほんの一例に過ぎず、子どもたちの姿はいつも「心地よさ」を感じさせてくれました。提供された食事を美味しそうにしっかり食べる姿、就寝時間を守ってきちんと部屋の電気を消す姿、楽しそうにレクリエーションに取り組む姿。気持ちいい子どもたちの姿がいつもすぐ近くにありました。これまで、ご家庭や地域の方々、また多くの先生方の愛情に包まれて心豊かに育ってきたからこそ、子どもたちのこの姿が今あるのだとつくづく感じました。行程が進むにつれ、子どもたちと過ごせる「心地よい」修学旅行も終わりに近づいていることに、一抹の淋しささえ感じるほどでした。

迎えた最終日は快晴。長崎の美しい海に、子どもたちと瀬戸川先生・河瀬先生の20人を乗せたペーロンが浮かんでいました。心を合わせ、一心に櫂を操る姿。並走する救助船からは栗山先生・北先生が見守ってくれています。残り10ヶ月、目の前の光景のようにみんなで協力し合い、着実に前に進ませ、子どもたちを新たなステージに送り出したい。修学旅行の最後に見たのは、そんな思いがいっそう強まる素晴らしい光景でした。



小中協働茶摘み

5月9日(月)に和東小学校3・4年生と共に小中協働茶摘みを実施しました。

〈お茶摘みスローガン〉

Best 最高のお茶

Unique 唯一の和宝

Discovery 和東の良さを発見

このスローガンのもとみんなで協力し、たくさんのお茶を摘むことができました。来年こそは、たくさんの方をお招きしてさらに多くのお茶を摘みたいですね。



3年生 修学旅行 in 長崎

5月15日～17日の3日間、スローガン「きゅう極なしゅう学旅行にしよう！」のもと、長崎方面を訪れました。様々な体験を通して、1人1人が仲間との絆を改めて感じ、クラスで最高の思い出を作ることができました。



伊根中学校との交流

5月17日(火)に伊根中学校との交流を実施しました。歓迎セレモニーでは、伊根町や和東町に関するクイズを実施するなど、お互いの町について知ることができました。また、日本茶インストラクター松石さんをお招きして、おいしいお茶の淹れ方を学習しました。一煎目のお茶と二煎目以降のお茶を飲み比べるなど「お茶の奥深さ」を実感する機会となりました。



6月の行事予定



日	曜	学校行事	給食
1日	水	相楽地方陸上競技大会	×
2日	木	全校集会	○
3日	金		
4日	土	土曜教育・授業参観 PTA 学年委員選挙	×
5日	日		
6日	月	土曜教育の代休	
7日	火	教育相談週間(～14日)	○
8日	水	前期人権学習① 尿検査①	○
9日	木	尿検査予備日 前期人権学習②	○
10日	金	前期人権学習③	○
11日	土		
12日	日		
13日	月		○
14日	火		○
15日	水	あいさつ運動	○
16日	木	テスト前部活動停止 (～23日)	○
17日	金		○
18日	土		
19日	日	山城地方中学校陸上競技大会	
20日	月		○
21日	火	尿検査②	○
22日	水	保体・技家テスト	○
23日	木	期末テスト①	×
24日	金	期末テスト②	○
25日	土		
26日	日		
27日	月		○
28日	火		○
29日	水		○
30日	木		○

7月の主な行事



1日	金	全校集会	
11日	月		
15日	金	三者面談	
16日	土	相楽地方中学校総合体育大会	
17日	日	相楽地方中学校総合体育大会	
19日	火	給食終了	
20日	水	終業式	

※今後の状況により予定が変更する場合がございます。

新茶を味わう和東中と伊根中の生徒たち

(和東町釜塚・和東中)



3年ぶり生徒交流

伊根中と和東中 新茶味わい

新型コロナウイルスでいた。3年ぶりとな
の影響で中止となつて
る今回は伊根中の生徒
いた伊根中(伊根町)
と和東中(和東町)の
交流が3年ぶりに和東
中で行われた。両校の
生徒約50人が、互いに
入れた和東町の新茶を
飲んで親好を深めた。
両町は友好都市で、
毎年両校の生徒が互い
の町を訪問して交流し

た。伊根中の1、2年生
はバスで和東町内の茶
畑を見学した後、和東
中の生徒と対面した。
歓迎セレモニーや自己
紹介の後、地元産の宇
治新茶を使ったお茶の
入れ方を日本茶インス
トラクター4人に教わ

2022年5月20日(金)付
けの京都新聞に、本校の
記事が掲載されました!



った。
両校の生徒は、互い
に入れた新茶の味を飲
み比べたり、茶殻を食
べたりした。初めて自
分で入れる生徒もあり
「濃い」「味が濃い」
と、何杯も飲んで感想
を言い合っていた。

伊根中1年の石倉彩
名さん(12)は「伊根
町の海の景色と違って
一面茶畑の緑でびっく
りした。交流は短かつ
たけれど、会って3秒
で仲良くなれた子もい
た」と笑顔で話した。
(有賀光太)